

北極評議会 (Arctic Council) の概要

- 1996年9月19日、北極評議会(AC: Arctic Council)の設立に関する宣言(オタワ宣言)に基づき、米国をはじめとする北極圏国8か国によって設置されたハイレベル・フォーラム。ノルウェー・トロムソに事務局を設置。
- 北極における持続可能な開発、環境保護といった共通の課題について協力等を促進すること等を目的とする。(オタワ宣言では、軍事・安全保障に関連する事項は扱わないこととされている。)
- ACは通常2年に一度会合(閣僚レベル)を行い、意思決定はメンバーによる全会一致で行われる。
- 我が国は2013年5月からACオブザーバー国であり、外務省北極担当大使が閣僚会合、高級北極実務者会合に参加している。その他、各種専門家会合等には、我が国研究機関から専門家が出席している。
- 我が国として、北極に関する国際的な意思決定やルール策定に適切に関与していく観点から、我が国の強みである科学的知見や科学技術を活用し、ACの活動に対する貢献を強化していく。



ARCTIC COUNCIL

北極評議会

メンバー国(北極圏国)(8 ※固定)

フィンランド 現議長国
(任期:2017年5月~2019年5月(閣僚会合))
アイスランド
ロシア
ノルウェー
デンマーク
スウェーデン
カナダ
米国 (議長国は輪番制)

常時参加者(6)(※上限7)

アリュート国際協会(AIA)
北極圏アサバスカ評議会(AAC)
グイッチン国際評議会
イヌイット極域評議会(ICC)
ロシア北方民族協会(RAIPON)
サーミ評議会

オブザーバー

(ACの活動に貢献するとACが決定するもの。)

国(非北極圏国)(13)
仏、独、西、蘭、ポーランド、英、日本
中国、インド、イタリア、シンガポール、韓国、スイス

政府間・地域間・議員間組織(13)
(国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)等)

NGO・団体(13)
(北方評議会(Northern Forum)、WWF等)